

3月:「留学生に係る出入国管理制度に関する講習会」



日時: 2008年3月5日(水) 14:00~15:30

場所: ホテル ブリランテ武蔵野 エメラルド A(2階) (さいたま新都心)

参加者: 56名

この月例会は、他の地域でも同様に実施されているが、毎年埼玉県留学生交流推進協議会がその総会開催時に併せて開催する標記行事にJAFSA会員が参加できるよう配慮したもので、今回で2回目となる。JAFSA企画委員会で会員から要望が多いこの講習会を関東地域でやれるところはないかとの打診があり、それに呼応する形で昨年「共催」とさせていただいている。協議会メンバーと埼玉県内の関係教育機関・団体には推進協議会から開催通知・案内が届くため、JAFSA会員としては埼玉県外からの参加が多数予想されたが、今回は、協議会ルートでの参加者が51名(登録者は57名で当日欠席者が6名)でJAFSA関係として登録・参加された方も5名にとどまり、昨年よりも全体的に減少した。これは開催時期や、案内の遅れ等いろいろな理由はあると思うが、検討されるべきと考えている。しかし、確かに入管協会等において有料で丸1日かけて[この点は後でも触れるが]内容的に十分に勉強できる研修会はあるが、入管協会会員、会員外どちらもかなりの高額な研修費用がかかるので、たとえ時間が2時間前後と限られたものだとしても、参加費無料の講習会で申請取次受講と認定されるから、非常に貴重な機会だと考えている。まだ実施していない、残念ながら東京都にはないが、各地域留学生交流推進協議会・会議においても、埼玉等と同様にその総会開催等の機会にこのような講習会をJAFSA共催として企画・実施されることが期待されているのではないと思う。

さて、当日は、過去には協議会メンバーでもある法務省東京入国管理局埼玉出張所の関係者に講師をお願いしてきたが、今回初めて東京入国管理局本部から永住優二留学・就学審査部門首席

審査官をお迎えして講義をしていただいた。永住氏からは、まずは入国管理の現状をデータでご紹介いただいた。それは残念ながら留学、就労ビザにおける不法残留者数が中心のものになった。永住氏には直接お話ししなかったが、こういうデータを見せられる度に、そこに問題点があるとしても、留学生を担当する仕事をしている者としては、それでは例えば日本社会に貢献したと顕著な功績が認められた優秀な留学生を日本政府としても表彰してはくれませんか？とお願いしたくなった。次に主題である、「出入国管理行政の仕組み」と「申請取次制度」について資料に基づき丁寧にご説明いただいたが、永住氏からは、一日研修であればもう少し詳細な点をお話しできるがとのご指摘もあった。その後は、事前に提出された質問－卒業後の就職活動に関わるビザの移行－についての回答があった。予め入念にご検討いただいた結果、入国管理局の統一見解（これがなかなか得られずに直接担当する大学関係者が苦勞するところであるが）として、留学ビザの有効期限が卒業前に切れる場合は、「卒業見込証明書」を提出すれば従来通り許可できる、とのお答えであった。その他会場からの質問にも時間いっぱいお答えいただいたので、有意義な講習になったのではと思っている。

報告者：比奈地 康晴 氏（埼玉大学）